

M's FREECELL 12.3.1

【解説】

「M's FREECELL」はごく普通のソリティア型カードゲームです。
表題のフリーセル以外にも合計8種類のゲームが遊べます。

- フリーセル (FreeCell)
- エイトオフ (EightOff) ←フリーセルの変種
- クロンダイク (Klondike)
- ユーコン (Yukon) ←クロンダイクの変種
- ピラミッド (Pyramid)
- エーススクエア (AcesSquare)
- ゴルフ (Golf)
- カルキュレーション (Calculation)

ルールの説明が分かり難いかもしれませんが、一般的なルールなので多分大丈夫でしょう。ローカルルール等で微妙な違いが有るかも知れませんが、実際に操作して慣れてください。

ゲーム番号（初期状態）は1から32000まで有ります。他のソフトとゲーム番号の互換性はありません。

フリーセルでは全てのゲーム番号を制覇したという報告を頂いていますが、それ以外のゲームでは全てをクリアできる保証は有りません。

エイトオフはフリーセルよりクリアし易いようなので見込みが有りますが。

ピラミッドではクリア不可能な配置が発生するのを確認しています。

エーススクエアやゴルフ、カルキュレーションでも完全クリアは不可能なようですが、フリーセル以外はオマケという事で御容赦願います。

無制限に操作の“取り消し”と“やり直し”が可能なので、クリア可能な初期状態であれば時間を掛ければクリア出来るはずです。

初期状態でカードが裏返っていたりして全てのカードの状態が見えないタイプのゲームでは操作を取り消してやり直したりするのは本来フェアではないのですが、別に競技のゲームでもないので可能にしています。

正式名称は「M's FREECELL」なのですが、実際のアプリケーションのファイル名等は「MsFREECELL」となっています。ファイル名に空白文字等が入っていると変な現象を起こす事が有るので、このようにしています。

【沿革】

「M's FREECELL」は、本来もりすけさんの作品です。

2001年から2002年にかけてバージョン0.9.5まではもりすけさんが制作されてたのですが、都合によりメンテナンスが出来ない状態になっていたので、バージョン0.9.6以降は私が修正作業をさせて頂く事になり共作という形にしています。

この辺りの経緯については、別に添付している「旧版制作者からのお知らせ」というドキュメントをお読みください。

新しいシステムへの対応等の都合で、プログラムは何度か全面的に作り直しましたが、基本的な構成やゲーム番号からカードを並べる部分のプログラムロジック等は引き継いでいます。

当初はREALbasicで作られていましたが、現在の物はバージョン12.0.0からUnityで作直したものです。

参考までに、以下はオリジナル版のドキュメントの冒頭です。

フリーセルというのはトランプのひとり遊びです。

Windows98やMeなんかにはおまけでついていますが、マックにはありません。

しかしこれがハマるのです、たくさんの人がハマっています、私もハマったのです（現在進行中）。

そして21世紀のお正月の事です、年末にひどくなりはじめた風邪が治まったのは年末年始休暇もあと一日となった1月3日だったのです。

さてフリーセルでも遊ぼうかと思ったものの、我が家のWindowsマシン(vaio)は子供達に占領されてしまっていました。

そして待つことや行列に並ぶことが嫌いな私は作りはじめたのです...

もりすけ

註：もりすけさんは「さめがめ（SameGame）」や「まきがめ」として知られるパズルゲームのオリジナル版「ChainShot!」を作られた方です。

【操作】

起動すると自動でゲーム開始します。

基本操作は、移動したいカードを選択して移動先をクリックするだけです。

ゲーム内に詳細の説明があります。

ユーザー毎の書類フォルダにバックアップデータを保存するようになっているため、システムから「書類フォルダにアクセスしようとしている」と言った旨の確認が表示される事があります。

【動作環境】

使用するOSによって複数の版があります。動作環境や版毎の制限事項については、別に添付している「動作環境について_Unity」というドキュメントを参照してください。

【インストール】

「M's FREECELL」は特にインストール作業を必要とはしません。どこからでも起動できるので適当な場所に置いておいてください。不要になった場合も単にファイルを削除するだけで構いません。

起動すると設定や成績記録のためのファイルを作ります。ファイルの場所は動作環境に依存します。

【配布条件】

「M's FREECELL」は、Freeware です。複製・配布は自由ですが、内容の変更等は出来ません。その他、一般的な Freeware のルールに従って下さい。

なお、配付に関しては自由に行って構いません。ネットワークへのアップロードやCD-ROM等への掲載等、どのような媒体に転載する場合でも、作者の承諾は不要です。

【開発環境】

「M's FREECELL」は、Unity2020.3.48f1で作成されています。

【バージョン履歴】

2024.04.06 12.3.1

細かな動作の調整

内部処理の調整

2023.06.30 12.3.0

マウスポインタサイズの変更

細かな動作の調整

内部処理の調整

2022.11.19 12.2.1

細かな動作の調整

内部処理の調整

2022.06.05 12.2.0

マウスポインタ表示の変更

細かな動作の調整

内部処理の調整

2022.01.08 12.1.0

カルキュレーションの動作不都合対応

成績表示画面の誤表記訂正

成績表示画面でゲーム番号選択の追加

成績の消去・読込機能の追加

ゴール達成数表示の追加

細かな動作の調整

内部処理の調整

2021.12.10 12.0.0

Unity2020で全面作り直し

ゲームルール（エーススクエア）を追加

自動モードの切り替え機能追加

:

2012.01.17 10.0.0

Real Studio 2011に移行

:

2006.11.28 1.0.0

全面作り直し

:

2005.03.14 0.9.6

開発引継

REALbasic 3.5Jに移行

:

2001.01.04 0.1.0

オリジナル初版

2024.4.6 竹内 (Macの変人) 喜代志